

# 中二国語科通信

第1号  
平成31年4月20日  
国語科2年担当  
奥池・狭間



お迎えを急ぐいつもの道の辺に  
うす紫の山藤咲けり

## 「脳味噌を動かす授業」

始まりました「脳味噌を動かす授業」二年目！一中国語科では、今年度もこのスローガンを継続します。昨年度、脳味噌にさざ波は立ちましたか？中には、毎時間荒波が立っていた人もいましたね。しかしその一方で、(脳味噌の)表面が微動だにしなかった人も多くいました。とっつっつっつっつっても残念です。  
思うようにいかなかった人も、一度リセットして、心機一転がんばりましょう。

## 第1回漢字大会

4月23日(火)に、今年度初の漢字大会が実施されます。宅習ノートでも練習を重ねていると思いますが、1年間パーフェクトだった人には賞状が贈られますので、第1回から失敗しないように、週末を利用して十分に準備しておいてください。特に、昨年度ふがいなかったそのアナタ！アナタのことですよ!!!

## 第1回獅子王賞受賞作品が出版されました！



こうやって並べてみると圧巻！マーカ一、マステ、シール、穴あけパンチ…等々、工夫の(苦勞の?)跡が見えます。



執筆から製本まで、ずいぶん長い時間がかかってしまいましたが、先日やっと、「MJ出版」より、受賞作品(十自分の作品)が出版(校内で)されました。どの作品も力作で、現在は堀之内教頭先生の机の横に展示されています(すでに数人の先生が手に取って見ていらっしやいました)。皆さんもぜひ、堀之内先生の所に行つて、静かに閲覧してくださいね。



こういうのが得意なのはたいたい女子！って決まってるなものの(男子よ、失礼。)、意外にも男子の作品が面白くてびっくり！まずタイトルから面白い。「和解」「なぜならだ？」「星の花が降るおはさん」の野望」等々……。本当に、読みたくなるものばかり！

相手のすばらしい姿や行動を見たから、自然とその相手への敬意がわいてきます。お互いに敬意をもち、認め合いです。学年を超えて、強いながらも一中の中心としてぜひ皆さんから作っていただく。ここから得られる力はこの先、きつとあなたを助けてくれます。

いよいよ中学二年生になりましたね。中学校生活も三分の一が終わりでしたが、ここで一つ確認しておきたいことがあります。皆さんは敬語を正しく使えていますか？敬語というのは「(相手を)敬うことば」です。たった一歳の違いですが、皆さんは一年生より、多くのことを学び、経験し、知っているのです。知っているということは、それだけ世界が広く見えていくということですから、そんな相手に対して敬意を表したり、相手の立場を尊重したりするために敬語は使われます。しかし、それだけではありません。後輩から敬意を受けるためには、先輩として後輩に何かを与えることができなければなりません。皆さんは後輩に何をあげられますか？  
私は、先輩ができることの一つに、「その道を先に歩く者としてより良い姿を示し、後輩がその道をより歩きやすくしてあげること」があると考えています。これをより端的に述べると、「先輩の良き手本になる」ということです。皆さんもこれまで上級生の姿を見て、多くのことを学んできたはずですよ。

コラムマラソン 第一回  
「先輩と後輩、敬意と敬語」  
奥池大和